

平成 26 年度国際理解教育セミナー

【日時】平成 27 年 2 月 15 日（日）10:00～16:00

【場所】アイパル香川（香川国際交流会館）3 階 第 5、6 会議室

【内容】

(1) ワークショップ 第一部 私から始まる国際理解教育

～地球規模で考え、世界とつながり、誰もが共に生きる社会のために～

<講師>平野 木恵氏（NPO 法人 NIED 国際理解教育センター研究員）

4 名ずつグループになりグループワークを行いました。

まず初めに、3 種の異なる世界地図（メルカトル図法、ピータースの地図、オーストラリアの地図）を比較し、普段私達に馴染みのある世界地図とは『違う』地図、その『違い』から見えてくるものは何か話し合うことを通して、世界とのつながりと地球について考えました。

最近よく耳にする『グローバル化』という言葉。平野先生からグローバル化とは、『人・物・お金・情報（知識、技術）などが国境を越えて行き来すること』という説明がありました。

グループ毎に『グローバル化のメリット』について議論する中では、グローバル化はメリットだけでなく、デメリットももたらすという意見もあり、参加者様々な意見が引き出されました。



(2) ワークショップ 第二部

午後のプログラムは、『富の偏在化』を体験するワークショップから始まりました。世界の所得が人口に対してどのように存在しているかということ、平野先生から説明していただきました。その後、今や日本だけでは解決できない世界的な問題『グローバル・イシュー』を解決するために、①私たちはどんな力をつければよいか、②その為に私は〇〇する、この2点についてグループ毎に話し合いを行い、全員の前で発表しました。それぞれ置かれている状況が違う中で、いかに問題に取り組むか、個人個人が考えた自分でできることを共有しました。



(3) 平成 26 年度 JICA 四国教師海外研修エチオピア 研修報告&実践授業紹介

1.研修報告

<発表者>

教師海外研修参加教員

エチオピアでの研修の様子について、写真を用いながら紹介しました。

2.実践授業紹介

<発表者>

富阪 亜樹 教諭（松山市立生石小学校/愛媛県）

帰国後、小学6年生を対象に行った17時間の授業について、授業のねらい、学習計画、成果等を紹介しました。実際に生徒に行った授業（Yes/No クイズやエ

チオピアダンス)を参加者に疑似体験してもらった。

【参加者の感想】

- ・内容はもちろん、ワークショップの進行の仕方も勉強になった。
- ・参加型の様々な手法を実際に体験することが出来て大変有意義だった。知っている事でも自分で参加してみるとよりよく学ぶことが出来た。
- ・実践授業紹介がとても面白かった。興味を持たせる工夫とそこから子どもたちが学んでいった過程がよくわかった。
- ・自分の生活、自分の日常世界だけでなく、もっと広い世界を知る、考え続けることの大切さを改めて教えて頂き、よい機会をもつことができた。